

印西大師 旧第77番 白井新田・観音堂跡

1 名称 (No.176/288)〔手引鏡：白井新田(表紙裏書・異筆)〕〔資料館：×印〕

2 場所 白井市根430付近 共同墓地内

HondaCars市川の北隣を西に進むと共同墓地があり、そこにかつて観音堂があったらしい。

富ヶ谷・薬師堂から道程約1,700m

白井新田・橋本大師から道程約440m

GPS座標 35.78051718212204, 140.04313851332063

3 由緒

4 御堂 観音堂も大師堂もない。

5 境内 墓地の中央付近に木々が繁る一角がある。また入口に地藏菩薩などの石造物がある。

6 写真 (2022.11撮影)



HondaCarsの隣の地藏菩薩(明治37年)



共同墓地方面



共同墓地内

7 情報

(1) 遷座

手引鏡に、「(表紙裏書・異筆) 七十七同(番) 白井新田 砂田 こくぞうどう」との記載(第77番札所を砂田の虚空蔵堂から白井新田に遷座するという意味)があります。また、印西大師巡拝順路図には「第77番 師戸 広福寺 ← 砂田虚空蔵堂より白井新田に遷座するも昭和55年師戸廣福寺へ再び遷座」との記載があります。

(2) 観音堂跡

この名称については、手引鏡に「白井新田」(表紙裏書・異筆)とあるだけで御堂の名称が出ていませんが、「白井組合大師札所寺院部落(白井谷清大師寺院札所二十六か所)」(梶原家文書の写し)には、「第六番 (印) 七十七番 観音菩薩 白井新田 観音堂 橋本内神」、つまり白井大師第6番・印西大師第77番は、白井新田の「観音堂」との記載がありますので、この名称によりました。

(3) 2022.11現地調査

白井ふるさとガイドの会会長様より、白井新田の旧第77番札所はHondaCarsの隣の共同墓地にあったと橋本梨園の御主人様から伺ったことがあるとの情報をいただきました。

橋本梨園様を訪問し、奥様からお話を伺いました。昔はHondaCarsの隣の共同墓地にも御堂があったとのことでした。共同墓地に行ってみると、HondaCarsの隣にはお地藏様や観音様らしき石像があり、墓地の中央付近に木立のある区画があったので、このあたりに御堂があった

のかもしいないと思ひました。(2022.11現地調査)

(4) 第77番の御大師様は何処へ

「白井組合大師札所寺院部落（白井谷清大師寺院札所二十六か所）」（梶原家文書の写し）には、「第六番 （印）七十七番 観音菩薩 白井新田 観音堂 橋本内神」とあるので、白井大師第6番と印西大師第77番は観音堂にあったとも考えられます。

一方、印旛歴史民俗資料館の巡拝順路図（右図）では、白井新田（橋本大師）と旧第77番（共同墓地）は別の場所に表示されているので、御堂は2ヵ所、したがって御大師様も2つあったかのように見えます。それとも昭和55年に印西大師第77番札所は師戸の広福寺へ遷座したので、×印を付し、現在の順路は橋本大師の場所（○白井新田）に移っているということを示しているのでしょうか。



橋本大師の御堂の中の大師像は1体だけでした。①広福寺へ移ったのは番号だけで、観音堂にあった御大師様が現在の橋本大師の御大師様なのか、②それとも観音堂にあったのは砂田・虚空蔵堂からやってきた石像で、それは広福寺へ行ってしまったが、橋本家では御先祖様(橋本吉兵エ氏)が四国八十八ヶ所を順拝して帰ったのち大師堂を建立し、それが現在の橋本大師ということなのでしょう。御大師様の石像はもともと1体だったのか、2体だったのか、番号とともに石像も広福寺へ移ったのか、そのあたりの事情をもう一度伺ってみたいものです。

大正時代の東葛印旛大師の例ですが、弘法大師の石像は遷座先へ移され、遷座先の世話人から遷座元の世話人へ差し出された奉迎証文(ほうげいしょうもん)（札所を迎え入れるための証文）が残されています。ということは、遷座というのは番号だけではなく御大師様の石像も移るということなのでしょう。

https://www.city.kamagaya.chiba.jp/smph/sisetsu/kyoudo_2/nanisuru/nanisuru18.html

(5) 四国八十八ヶ所 第77番 道隆寺 御詠歌

ねがいをば 仏道隆に 入りはてて 菩提の月を 見まくほしさに

真言宗醍醐派 桑多山(そうたざん) 明王院 道隆寺(どうりゅうじ)

本尊 薬師如来 香川県多度津町